

『奥町誌』 奥町教育会 1936年

7階郷土資料コーナー A273 / 7

『いちのみやし大和町の史録』 田中三郎 2013年

7階郷土資料コーナー A273.1 / イチ

『ふるさと馬引のあゆみ』 馬引馬子の会 2016年

7階郷土資料コーナー A273.1 / フル

『尾西市史 通史編上巻』

尾西市史編さん委員会/編集 尾西市役所 1998年

7階郷土資料コーナー A273 / 78 / 9 - 1

『起町史 下巻』 起町役場 1955年

7階郷土資料コーナー A273 / 8 / 2

『朝日村誌』 朝日村誌編集委員/編 岩田宗十郎

1963年 7階郷土資料コーナー A273 / 20

『木曽川町史』

木曽川町史編集委員会/編集 木曽川町 1981年

7階郷土資料コーナー A272 / 9

『中島郡制史』 ※1923(大正12) 年刊の復刻

中島郡役所/編 国書刊行会 1988年

7階郷土資料コーナー A273 / 111

『葉栗郡紀要』 ※1921(大正10) 年刊の復刻

葉栗郡役所/編 国書刊行会 1988年

7階郷土資料コーナー A272 / 11

『尾西北のかがみ』 飯田吉之助/著 一の宮新聞社

1935年 7階郷土資料コーナー A270 / 1

『一宮市文化人事典』 田中三郎 2014年

7階郷土資料コーナー A280 / イチ

インターネット、データベースもご活用ください。

7階インターネットスペースではデータベースを利用して、新聞記事や国立国会図書館のデジタル資料が検索できます。

ここで紹介した資料がすべてではありません。

郷土に関する質問は7階カウンターでおたずねください。

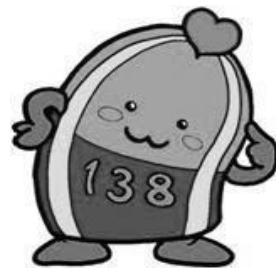
一宮市立中央図書館で調べる

郷土—7

2022.11 改訂

一宮の人物について

調べるには？



一宮市出身の人物や活躍した人物について調べたい、自分の先祖について調べたいなど、一宮ゆかりの人物について調べるために参考になる資料を紹介します。



『新編一宮市史・本文編が完結(昭和52年)』 P8 / 1 / 19



一宮市立中央図書館

〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号

尾張一宮駅前ビル(愛称:i-ビル)5~7階

TEL: 0586-72-2343 FAX: 0586-23-2136

愛知県の人物を調べる

『角川日本姓氏歴史人物大辞典 23 愛知県』

愛知県姓氏歴史人物大辞典編纂委員会/編著
角川書店 1991年 7階参考図書コーナー^{R288 / カ / 23}

『愛知百科事典』

中日新聞社開発局/編 中日新聞本社 1976年
7階郷土資料コーナー A030 / 1

『新編愛知県偉人伝』

愛知県教育会/編 愛知県郷土資料刊行会 1979年
7階郷土資料コーナー A280 / 50

『東海の先賢群像』 岩田隆/著 桜楓社

1986年 7階郷土資料コーナー A280 / 88

『東海の先賢群像 続編』 岩田隆/著 桜楓社

1987年 7階郷土資料コーナー A280 / 88 / 2

『愛知書家画家事典』

服部徳次郎/著 愛知県郷土資料刊行会 1982年
7階郷土資料コーナー A720 / 2

『愛知画家名鑑』

服部徳次郎/編著 愛知画家顕頌会 1997年
7階郷土資料コーナー A720 / 5

『愛知近現代女性史人名事典』 愛知女性史研究会

2015年 7階郷土資料コーナー A281 / アイ

『愛知県人物・人材情報リスト 2015』

第1巻～第4巻 日外アソシエーツ 2014年
7階郷土資料コーナー A280 / 101 / 15 - 1～4

● 角川日本姓氏歴史人物大辞典とは ●

角川日本姓氏歴史人物大辞典は、岩手、宮城、群馬、神奈川、富山、石川、山梨、長野、静岡、愛知、山口、鹿児島、沖縄の各県と京都市の巻が刊行されています。愛知県の巻の第一部<歴史・人物編>は、第一章 愛知県の歴史と人物 第二章 市区町村の歴史と人物 第三章 愛知県全域の歴史形成に重要な関わりを持つ約2,700人(物故者)の解説の三章編成となっています。第二部<姓氏編>では、愛知県内の主要な姓氏約1,300について解説。第三部<資料編>では、愛知県内の主要系図、藩主一覧、家紋、参考文献等を掲載。人物の調査や先祖の調査まで幅広く活用できます。

参考文献『角川日本姓氏歴史人物大辞典 23 愛知』

愛知県姓氏歴史人物大辞典編纂委員会/編著、角川書店、1991年、R288 / カ / 23

一宮市の人物を調べる (一宮市史)

『一宮市史 卷之上』

飯田吉之助/著 一の宮新聞社 1923年
7階郷土資料コーナー A273 / 15 / 1

『一宮市史 卷之下』

飯田吉之助/著 一の宮新聞社 1924年
7階閉架 A273 / 15 / 2

『一宮市史 続』

飯田吉之助/著 一の宮新聞社 1927年
7階郷土資料コーナー A273 / 15 / 3

『一宮市史 下巻』 ※1939(昭和14)年刊の復刻

一宮市役所/編纂 国書刊行会 1990年
7階郷土資料コーナー A273 / 117 / 2

『新編一宮市史 本文編下』 一宮市 1977年

7階郷土資料コーナー A273 / 19 / 18

● 一宮市史とは ●

「一宮市史」には、一宮通信社の創始者・飯田吉之助(1879～1934)の私選による『一宮市史 卷之上・下・続』(1923～1927年刊)、一宮市より市史編纂を委嘱された郷土史家・森徳一郎(1885～1972)による『一宮市史 上・下巻』(1939年刊)、1940年の周辺8町村との合併後に編纂された『新編一宮市史 本文編上・下』(ほか資料編16巻、資料編補遺4巻、年表1巻、1963～1988年刊)の3種類があります。また、現在の一宮市域では旧大和町を除くどの市町村でも郷土史が編纂されています。個人や地元の有志グループが地域の歴史を調べ、小冊子を発行することもあります。

参考文献『一宮郷土史編纂の歩み』一宮市尾西歴史民俗資料館、2015年、A273 / イチ

一宮市の人物を調べる (旧市町村史など)

『一宮市史 西成編』 一宮市教育委員会 1953年

7階郷土資料コーナー A273 / 14 / 4

『一宮市浅井町史』 一宮市役所浅井支所 1967年

7階郷土資料コーナー A273 / 25

『一宮市萩原町史』 萩原町史編纂委員会 1969年

7階郷土資料コーナー A273 / 28

『一宮市今伊勢町史』 今伊勢町史編さん委員会 1971年

7階郷土資料コーナー A273 / 32

『千秋村史』 千秋村史編纂委員会 1956年

7階郷土資料コーナー A273 / 6